

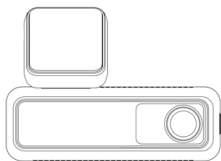
MIOFIVE

ドライブレコーダー取扱説明書

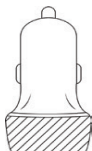
ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みいただき
大切に保管してください。

脇見運転は交通事故の原因になり、怪我や死亡のリスクを高めることとなります。道路周辺に気を配りながら、安全運転を心がけてください。

梱包明細書



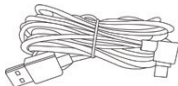
Miofiveドライブレコーダ本体 x 1



自動車用充電器 x 1



クローバー x 1



電源コード x 1



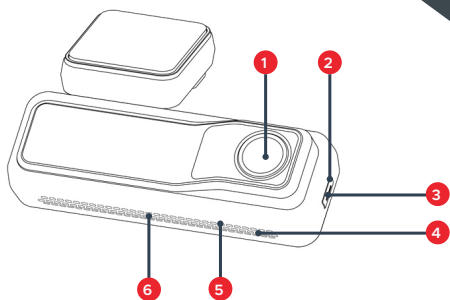
静電ステッカー x 1



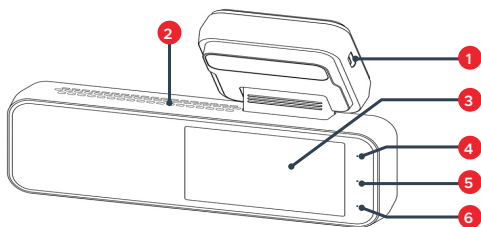
粘着シール x 1



ユーザーマニュアル x 1



- ① カメラ
- ② 電源ボタン
- ③ LED インジケータ
- ④ スピーカー
- ⑤ 排気口
- ⑥ マイク

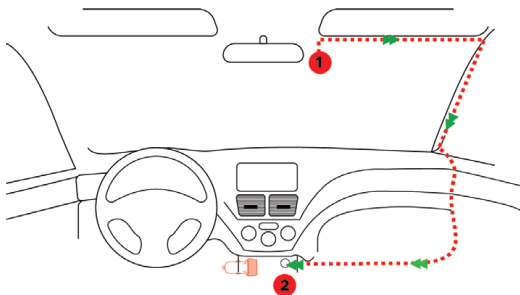


- ① 電源ポート
- ② 排気口
- ③ 液晶ディスプレイ
- ④ アルバム / 戻る スイッチ
- ⑤ メニュー / ダウン スイッチ
- ⑥ EMER ビデオ / OK スイッチ

取付

1. 静電ステッカーの取付

まずは安全な場所に車を停車させ、エンジンを止めてください。梱包から静電ステッカーを取出し、フロントガラスの推奨取付位置に貼付けてください（以下の図をご参照）。お取付けの際には、フロントガラスを清掃し、静電ステッカーとフロントガラスの間に残った気泡をきれいに抜くようにしてください。



備考：AI機能が正常に動作させるため、カメラのキャリブレーションを行うまでは、フロントガラスにステッカーを貼らないでください。

2. 電源の接続

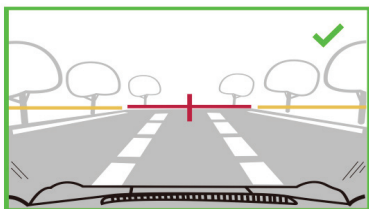
USB ケーブルの一端をドライブレコーダーの Micro-USB ポート に接続してください。フロントガラスのエッジにケーブルを沿わせ、隙間に挿し込みながら（クローパーを使用）、自動車用充電器のUSBポートまで接続できるようにしてください。エアバッグの展開場所にはお取付けしないでください。

自動車用充電器 を車両シガーソケットに差込み、本体 の電源ジャックを自動車用充電器に接続してください。

3. カメラのキャリブレーション

ドライブレコーダーを取付けるには、位置と角度を調整する必要があります。車のエンジンをかけ（運転中は取付けをしないでください）、右側の中央にある設定ボタンを押してください。「設定」「AI」「カメラキャリブレーション」の順で押してください。縦線をスクリーンの中央に、水平線を道路の消失点に合わせてください。運転席から見て、視界を妨げない場所へ取付けを行なってください。（以下の図をご参照）

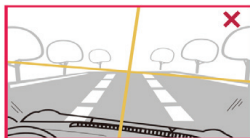
備考：AI精度は取付け位置によって大きく影響されます。慎重にお取付けください。



道路の消失点は画像の一番下にある



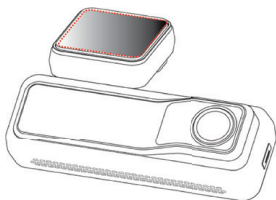
カメラが傾いている



取付け位置がボンネットに近すぎる

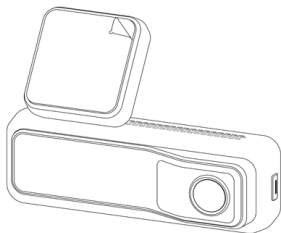
4. ドライブレコーダーの取付

ブラケットから保護フィルムをはがし、ドライブレコーダーを静電式ステッカーの中央に貼り付けてください。（手順3の最適位置）（以下の図をご参照）。ブラケットを手で押さえ、ブラケット裏面が静電ステッカーに密着するようにしてください。ブラケットを上にはスライドさせると本体が外れ、下にはスライドさせると本体がスロットに収まります。装着すると「カチッ」という音がします。



5. ドライブレコーダーの角度の確認と調整

手順3でドライブレコーダーが正しい角度で取り付けられていることを確認してください。リアカメラの画面を確認しながら、カメラの角度を上下に調整することで、レンズの向きを正しく調整することができます。



MiofiveドライブレコーダーAPPのダウンロード

下記のQRコードをスキャンしていただくか、App StoreまたはGoogle Playで「Miofive」とご検索いただき、APPをダウンロードしてください。



備考：ドライブレコーダーのWi-Fiに接続するためには、信頼するオブジェクトとアプリケーションの一覧にこちらのアプリをご追加いただき、常にWi-Fiがオンになっていることをご確認ください。

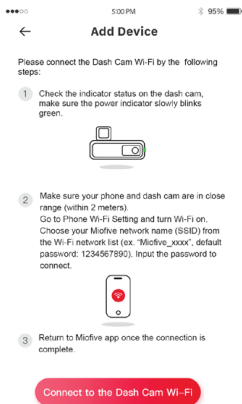
対応するOS：

Android5.0以上 / iOS11.0以上。

Miofive APPの使用について

スマートフォンとドライブレコーダーとのペアリング

1. ドライブレコーダーの電源LEDランプがゆっくりと緑色に点滅しているかどうかをご確認ください。
2. スマートフォンを本機から2メートル以内の場所に置いてください。
3. スマートフォンのWi-FiをONにしてください。
4. Miofive APPを起動する（プレミアム機能をご利用いただくには登録が必要です）。



5. 「マイデバイス」 > 「Wi-Fiに接続」をクリックします。

6. Wi-Fi一覧から、お使いのMiofiveのネットワーク名（SSID）（例：「Miofive_xxxx」、初期パスワード：1234567890）を選択し、パスワードをご入力いただくと接続することができます。

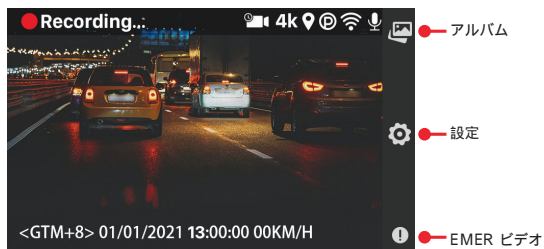
7. 接続が完了後、Miofive APP画面にお戻りください。

LEDインジケータの説明

表示	ステータス
緑点滅 (1 秒)	作動中、常時録画
緑点滅 (250ミリ秒)	EMERビデオ
常に緑点灯	録画停止、ユーザー操作中
赤点滅	ファームウェアアップグレード
高速に赤点滅 (0.5 秒) 3回	バッテリー残量低下
常に赤点灯	eMMC異常

メニュー

液晶パネル右側のボタンを押すことで、メニュー画面にアクセスすることができます。



このボタンを押すと、現在のビデオクリップがロックされ、緊急ビデオに保存されます。

機能

備考：本書には、すべての機能が記載されているわけではありません。

駐車監視モード

車が走行していないとき、つまり車両キースイッチ OFF 後、ドライブレコーダーは自動的にスイッチが切れ、10秒以内に駐車監視モードに切り替えます。衝撃や衝突を検知すると、Gセンサーが作動し16秒と60秒の録画を開始し、その後レコーダーは再び駐車監視モードに戻ります。

タイムラプスモード

タイムラプスモードでは、録画したファイルのフレームの周波数（フレームレート）は、録画したコンテンツを再生するとき使用する周波数よりも低くなります。タイムラプスモードは、スローモーションの逆で、録画を再生すると時間が早く進むと考えることができます。この機能は、電源を切ってから最大24時間運行することができます。

備考：本機能を使用するためには、常時電源を供給するために、ドライブレコーダーハードウェアキット（別売）との併用が必要です。

EMERビデオ

急カーブや急停止の際には、Gセンサーが作動し、16秒と60秒の動画が録画されます。これらのビデオの容量がeMMCの容量の30%に達すると、新しく記録されたビデオが古い映像から順に上書きします。

トリップログ

トリップログは、走行の路線を記録することができます。動画や写真にGPS情報が保存され、アルバムに地理情報が表示されます。トリップは個人のクラウドアカウントに保存することができます。

備考：個人情報を収集することはありません。すべてのGPSログデータは、米国Amazon Web Serviceに匿名で保存されます。

ファームウェア/APPのアップグレード

APPアップグレード

新しいバージョンがリリースされると、お使いのOSとアプリからアップデート通知が送信されます。プロンプトに従ってアップデートすることができます。

ファームウェアのアップグレード

ファームウェアはOTA (Over The Air Online Update) を通じてアップグレードすることが可能です。

「APPを開く」 - ドライブレコーダーに接続 - 「設定」 - 「ファームウェアの更新」と進み、画面の指示に従ってアップグレードしてください。

備考：バージョンアップ中は、ドライブレコーダーの電源を切らないでください。ファームウェアのアップグレードが完了すると、ドライブレコーダーは自動的に再起動します。アップグレードに失敗した場合は、すぐに弊社までご連絡ください。

故障時の対処方法

場景	症状	原因/対象方法
取付	画像ボケ	1. レンズの保護フィルムを剥がしたかどうかを確認してください 2. フロントガラスは反射することがありますので、ドライブレコーダーの設置位置に応じてレンズの角度を調整してください
	昼間と夜間の録画の画質差が大きい	一般的に使用されているフロントガラスフィルムの光透過率は68%~80%であり、レコーダーの記録に影響を与える可能性があります
	頻繁に停電	車種により接続がよくない可能性がありますので、カーチャージャーの角度を調整してください

ブートプロセス	起動しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. オンボードチャージャーのランプが点灯している状態を確認し、でなければオンボードチャージャーを取付し直してください 2. 内蔵電池の残量が少なくなっている可能性がありますので、USBケーブルで電源に接続してください 3. 電源ボタンを8秒間長押しして、電源をきってください。電源を切った後、電源ボタンを押し、再起動してください
	起動中にキーが押せなくなり、画面が真っ黒になる	電源ボタンを8秒間長押しして、電源をきってください。電源を切った後、電源ボタンを押し、再起動してください
録画中	起動後、ビデオが自動的に録画しない	<ol style="list-style-type: none"> 1. リブートしてください 2. 内蔵eMMCメモリーカードを初期化してください
	異常終了	内蔵eMMCメモリーカードを初期化してください
	ブラックアウト	「オートスクリーンオフ」をオンにしている可能性があり、30秒または60秒間（初期値）操作しない場合、節電モードになります。任意のボタンをタップして、再度画面を立ち上げることができません
	音声なし	<ol style="list-style-type: none"> 1. ビデオ設定で「オーディオ」がオフになっていることを確認してください（画面右上のアイコンがミュートになっている） 2. ビデオ設定の「オーディオ」をオンにする

	映像が不鮮明	<ol style="list-style-type: none"> 1. レンズの保護フィルムを剥がしたかどうかを確認してください 2. フロントガラスやカメラのレンズが汚れていないことを確認してください
	タイムエラー	<ol style="list-style-type: none"> 1. アプリを使って、車載レコーダーに接続します。接続すると、ドライブレコーダーは自動的にタイムキャリブレーションを行います 2. システム画面で「日付/時刻」を手動で調整してください
接続中	外部メモリが見つからない	データ転送に対応したUSBケーブルをご使用ください（箱の中にある充電ケーブルはデータ転送に対応していません）
	録画した映像をスマートフォンで再生できない	プレーヤーやOSに関係している可能性がありますので、パソコンでの再生をお勧めします
	待ち時間が長い	<ol style="list-style-type: none"> 1. 周囲にWi-FiのSSIDが多すぎると、電波の干渉で接続できないことがあります。干渉の少ない環境での接続を推奨します 2. OSに負荷がかかっている可能性があります。他のアプリケーションを閉じるか、スマートフォンを再起動してみてください

	APPの接続パスワードを忘れた	<ol style="list-style-type: none"> 1. 初期パスワードは「1234567890」 2. 「WiFi接続」でパスワードがわかります 3. 「設定」画面でパスワードをリセットしてください
WIFIで接続中	スマートフォンがドライブレコーダーに接続できない	<ol style="list-style-type: none"> 1. スマホのWi-Fiがオンになっていることを確認してください。 (iOSの場合、Wi-Fi設定でMiolveのWi-Fi SSIDを選択してください) 2. アプリケーションを強制終了し、再起動してください 3. 「セルラーデータ」をオフにしてください。スマートフォンがカーログに接続されると、新しいWIFIネットワークが作成されます。iOSやAndroidの一部のバージョンでは、カーログがネットワークを検出しない場合、ネットワークの利用を停止することがあります。データ通信をオフにして、機内モードをオンにしてから、Wi-Fiをオンに戻すことをお勧めします
	スマートフォンで再生できない	プレーヤーやOSに関係している性能がありますので、パソコンでの再生をお勧めします
	待ち時間が長い	<ol style="list-style-type: none"> 1. 周囲にWi-FiのSSIDが多すぎると、電波の干渉で接続できないことがあります。干渉の少ない環境での接続を推奨します

		2. OSに負荷がかかっている可能性があります。他のアプリケーションを閉じるか、スマートフォンを再起動してみてください
	APPの接続パスワードを忘れた	<ol style="list-style-type: none"> 1. 初期パスワードは「1234567890」 2. 「WiFi接続」でパスワードがわかります 3. 「設定」画面でパスワードをリセットしてください

カスタマーサービス

18ヶ月保証

メールアドレス: support@miofive.com

仕様

CPU : Novatek 社製プロセッサ

Wi-Fi : ワイヤレスネットワーク 2.4/5GHz

G-Sensor : 6軸加速度センサー内蔵、コリジョンロックギア、APPまたはデバイスで感度調整可能

ストレージ : 64G eMMC内蔵、高速フラッシュメモリー、ループ録画対応

GPS : 内蔵型 GPS

カメラ : FOV 140 の超広角, 開放F値1.8

イメージセンサー : Sony IMX415

画像解像度 : 3840 x 2160

画面 : 2.2インチIPSディスプレイ

電源：5V/2.4A

内蔵バッテリー容量：500mAh

温度：-10 °C~45 °C / 14 °F~113 °F

重量：145 克

寸法：116 x 60 x 55 mm

重要なお知らせ

機器を正しく安全にお使いいただくために、注意事項、警告、指示をよくお読みください。

予防対策

WARNING：感電や火災の原因となりますので、いかなる場合も雨や湿気、水にさらさないでください。

注意:

感電の危険を避けるため、説明書に書かれている以外の修理はしないでください。次の場合は、資格を持つ業者に修理を依頼してください。

- » 装置が濡れた場合。
- » 正常に動作しない場合。
- » 性能に大幅な変化があった場合。

液晶ディスプレイ:

液晶ディスプレイ (LCD) は、38万4千画素を含む多層構造の複雑な集合体である。1画素 = 0.000026%の故障率であり、1年間の運用で1画素の故障が発生しても正常と判断し、心配はありません。

バッテリー:

- » レコーダーのカメラやバッテリーを雨や水などの液体に浸したり、さらしたりしないでください。

- » 日光や無人の車など、熱源や高温になる場所に置かないでください。破損を防ぐため、ドライブレコーダーを車両から取り外すか、グローブボックスなど直射日光の当たらない場所に保管してください。
- » 以下の温度範囲外では、操作しないでください：10 ~45（14 ~ 113）
- » ドライブレコーダーを長期間保管する場合は、以下の温度範囲内で保管してください：0° ~ 25°C（32° ~ 77°F）まで。
- » Miofiveが認めていない電源ケーブルやデータケーブルは使用しないでください。
- » ドライブレコーダー/バッテリーを廃棄する場合は、地域の廃棄物処理機関に連絡し、該当する地域の法律や規制に従って処分してください。

G-Sensor:

ドライブレコーダーに内蔵されたGセンサーは、私たちが地球上で静止しているときにかかるプラスの力である1Gに対する、カーレコーダーにかかる力を測定します。あらかじめ設定された圧力閾値を超えると、Gセンサーが作動し、現在進行中の録音を保護します。カーレコーダーが直角に取付けられていない場合、つまりレンズが間違った方向を向いていたり、走行したりしている場合、Gセンサーの測定値に偏りが生じます。Gセンサーから得られる情報は、Gセンサーが何らかのサンプリング手法により経時的に導き出すものであり、必ずしも完全な精度を保証するものではありません。記録されたGセンサーの値の精度は、サンプリング時に加速度が発生した時刻に依存する。ビデオプロテクションをトリガーする閾値は、3つのGセンサーのいずれかの軸からの連続した2つのサンプルの間で超過したトリガー値に依存します。イベント中にGセンサーによる保護が自動的に作動しない場合は、ファイルを保護するために [EMERビデオ] ボタンを押してください。

GPS:

ルートデータセットを簡素化し、詳細なルートに必要なトラッキングポイント数を削減しました。データセット（速度、高度、位置など）の正確さには万全を期していますが、情報の正確性、適時性、完全性、特定目的への適合性について、明示または黙示を問わず一切の表明をせず、データセットの使用に関するいかなる責任も負わないものとし、データセットに誤りがないことを保証するものではなく、データセットの利用はユーザー自身のリスクで行うものであり、データセットに含まれる情報は予告なく変更される可能性があることを、ユーザーはあらかじめご了承ください。

マグネット：

デバイスは磁石を含んでいます。場合によっては、これらの磁石や電磁場が人工内耳、補聴器、ペースメーカー、除細動器などの医療機器に干渉することがあります。磁石を使用した機器は、そのような医療機器に近づけないようにしてください。また、磁石はノートパソコンのハードディスクや銀行・クレジットカード・会員カードなど、一部の電子機器に損傷を与える可能性があります。電子機器や銀行・クレジットカード・会員カードなどの近くに磁石を使用した機器やホルダーがある場合は、ご注意ください。

フロントガラスへの取り付けに関する法的規制：

フロントガラスにレコーダーを設置する前に、お住まいの地域の法令をご確認ください。自動車のフロントガラスに物を置くことを禁止または制限している法律があります。お客様の責任において、適用されるすべての法律および規制に従って本装置を設置してください。本製品は、運転者の視界を妨げないような位置に取り付けてください。

カメラの法的要求事項:

管轄区域によっては、機器を使用している人やその車の映像を撮影したり、公に公開したりすることが、プライバシーの侵害と見なされる場合があります。お客様は、ご自身の管轄区域で適用される法律および規制を知り、これを遵守する責任を負います。本機で撮影した動画は、個人で使用する場合に限りです。Youtube、インターネット、その他のプラットフォームへのビデオの投稿は、データ保護法の対象となり、お客様は要件を遵守する必要があります。このようなデータ保護に関する法律では、お客様によるドライブレコーダーの録画の使用や配布を禁止したり、制限を設けたりすることができます。ドライブレコーダーの録画を配信する前に、法律上の要件を顧問弁護士に確認されることをお勧めします。

窒息の危険性:

飲み込むことができるほど小さな成分が含まれている場合があります。お子様の手の届かないところに保管してください。

WARNING :

- » ブラケットを取付ける前に、フロントガラスに埃がないことを確認してください。
- » 車両に搭載する場合は、機器を取り外した状態で放置しないでください。運転者の視界を妨げる位置、エアバッグの位置、エアバッグが膨張する場所には設置しないでください。
- » 車両に機器を取付ける際に、運転手の視界を妨げたり、ホイール、フットペダル、トランスミッションレバーなど車両の操作系（ステアリングなど）の妨げになる場所に取り付けないようにしてください。車のダッシュボードに固定されていないものを置かないでください。

本製品は、外部映像を記録する車載用アクセサリです。本装置の使用は、使用者の安全運転を保証するものではありません。機器の故障、データの損失、操作に起因する運転事故その他の損害については、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

- » 運転の妨げになるため、運転中に本機の操作しないでください。
- » この装置は、正しく使用することで状況認識を高めることができるように設計されています。使い方を誤ると、ディスプレイに気を取られて準備不足になり、重大な人身事故や死亡事故につながるおそれがあります。運転中は、機器に保存されている情報にアクセスしたり、機器の設定を変更したりしないでください。デバイスに保存された情報の閲覧やデバイスの設定の変更は、車両の電源を切り、現地の法律に従って安全な場所に駐車している場合にのみ行ってください。常に周囲に気を配り、モニターを凝視したり、気を散らしたりしないようにしましょう。モニターに集中していると、障害物や危険物を見落とす可能性があります。ご自身の責任においてご使用ください。
- » 国によっては、ドライバーから見えるディスプレイを持つ機器でのビデオ再生が禁止または制限されている場合があります。これらの法律を遵守してください。
- » 録画した映像は、個人的な使用に限らせていただきます。
- » Youtubeやインターネット等での録画の公開は、データ保護法の対象となり、要求事項を遵守する必要があります。ドライブレコーダーが商業環境、すなわちトラックで使用される場合、保護法の規定に加えて、CCTVの規定も適用されます。
- » フロントガラスに使用する前に、運転する地域の法規制を確認してください。自動車のフロントガラスに物を置くことを禁止または制限している法律があります。ユーザーは、適用されるすべての法律および規則を遵守する責任を負うものとします。Miofiveデバイスは必ず運転手

視界を妨げない位置に設置してください。 miofiveはいかなる罰金、罰則、デバイスの損傷にも責任を負いません。 miofiveはお客様がドライブレコーダーを使用したことによる損害や負傷に責任を負いません。

» 車両の状態や運転方法、走行環境によっては、本機の一部の機能が正常に動作しない場合があります。 停電、常温?常湿以外での使用、衝撃、メモリーカードの破損は、機器の故障の原因になります。 また、すべての状況下で正常に動作することを保証するものではありません。

» 互換性を保つため、製品に付属のカーチャージャーとUSBケーブルを使用してください。 規格外のカーチャージャーとUSBケーブルを使用したことによる損害について、miofiveは一切の責任を負いません。 製品がアイドル状態のときは、カーアダプターを車の12/24 Vdc電源コンセントと機器本体から外してください。

» "リチウムイオン電池"は、ほとんどのマイクロデバイスに使われています。 これらのガイドラインに従わない場合、電池の寿命が短くなったり、機器の損傷、火災、化学薬品による火傷、電解液の漏れ、けがをするおそれがあるため、ご注意ください。

- 機器やバッテリーを分解、修正、改造、穴をあけたり、傷つけたりしないでください。

- 交換可能な電池を分解したり、分解を試みたりしないでください。

- 火気、爆発、その他の危険のある場所に装置を置かないでください。

- 機器を雨や水にさらさないでください。

» バッテリーの変形、膨張、液漏れがある場合は、直ちに使用を中止し、お客様相談室にご連絡ください。

» 機器に損傷を与える可能性のある強い磁界から遠ざけてください。

» 破損の原因となりますので、レンズには触れないでください。 レンズの洗浄が必要な場合は、柔らかい布にメガネレンズ用洗浄液を含ませて丁寧に洗浄してください。

- » 乾いた柔らかい布で拭いてください。落ちにくい汚れは、中性洗剤を水で5~6倍に薄めて、柔らかい布に含ませて拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンなどは、塗装やコーティングを傷めることがありますので、ご注意ください。
- » 法律で認められている範囲内でご使用ください。
- » 運転手や同乗者から20cm以上離れてご使用ください。
- » 効率性、安定性、長寿命を実現するため、内蔵式eMMCメモリーカードストレージソリューションを使用しています。APPまたはPCでメモリーカードを定期的にフォーマットすることで、デバイスのメンテナンス性を向上させることができます。
- » 自分で修理、分解、改造しないでください。
- » 湿度の高い場所、可燃性のガスや液体のある場所には設置しないでください。
- » 長時間、直射日光に当てないようにしてください。
- » この説明書の内容は、あくまでも参考です。

Miofiveドライブレコーダーの処分について

1. すべての電子機器は、国または地方自治体が指定する収集施設を通じて、一般廃棄物とは別に処分する必要があります。お住まいの地域で利用可能な廃棄・リサイクル方法については、お住まいの自治体にお問い合わせください。
2. Miofiveドライブレコーダーを適切に処分することで、環境や人体に悪影響を及ぼす可能性を防ぐことができます。
3. Miofiveドライブレコーダーの詳しい処分する方法については、お住まいの市役所、廃棄物処理業者、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

FCC 準拠基準

このデバイスはFCC規則第15部に準拠しています。以下の2つの条件に従って動作します:

1. このデバイスが有害な電波干渉を発生させることはない、および。
2. このデバイスは、誤動作を発生させる可能性のある電波干渉を含め、受信したあらゆる電波干渉を許容する必要がある。

WARNING : MIOFIVEの許諾を得ることなく本製品に変更または改変を加えると、製品を操作するための許諾が取り消されるおそれがあります。

備考 :

この装置は、テストの結果、クラスBデジタルデバイスの制限に適合し、FCC規則第15部に準拠していることが認められました。これらの制限は、住宅への設置によって生じる有害な干渉からの適切な保護を目的として規定されています。

この装置は高周波エネルギーを発生、使用し、また放射することがあるため、指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、干渉が生じないことが保証される特別な設置方法はありません。

この装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を現に引き起こしている場合（装置の電源をオン/オフすれば判別できます）、干渉を防止するため以下の1つまたは複数の対処方法を試してみることをお勧めします:

- » 受信アンテナの方向または位置を調整する。
- » 当該装置を受信装置から遠くに設置する。
- » 当該装置を、受信装置を接続している回路とは別の回路のコンセントに接続する。
- » 販売店または経験豊富な無線/テレビ技術者に問い合わせる。

FCC RF 被曝および SAR に関する声明

MIOFIVE 製品は、非管理環境に関するポータブル RF 暴露制限に適合しており、本書に記載するとおり安全に使用できます。製品を取付けるまたは使用する場合は、RF 暴露規制への適合性を確保するため、身体から 20 mm 離すようにしてください。



Miofive

MIOFIVE

www.miofive.com